
活動目標

《4》子育て支援

〈住民の声〉

(1) 日常生活の中での支援

- ① ノイローゼや幼児虐待に陥らないよう、人生の大先輩から教訓を得る。
- ② 助成金等の支援体制を充実して欲しい。
- ③ 相談窓口が欲しい。
- ④ 子育ての不安感解消、情報交換の場が不足している。

(2) 各種福祉サービスによる支援

- ⑤ ファミリーサポートセンター事業の詳しい内容の周知不足。
- ⑥ 放課後児童クラブの受入時間が短い。
- ⑦ 関係団体・機関が共通した目標と活動をしてほしい。

(3) 市民活動による支援

- ⑧ 通院・講演会参加の際、子供を預かって欲しい。



※ファミリーサポートセンターとは？

地域において育児や介護の援助を受けたい人で行いたい人が会員となり、育児や介護について助け合う会員組織です。

■取り組み方法

近年、子育ての環境は、核家族化と相まって大きく様変わりしてきました。乳幼児虐待等象徴的な現象も、子育て中の若い世代の孤立感等不安が誘因で有るとも考えられています。この状況を少しでも改善し、安心して安全に子育てが出来る環境づくりのため、行政施策の充実に対して働きかけると同時に、地域と社協が協働してその態勢づくりを行います。

〈取り組みの内容〉

(1)日常生活の中での支援

- ①問題を抱える前に多世代あるいは、同世代交流の中で解決方法を見出す仕組みを作る。
- ②子育て支援体制を充実する。
- ③相談窓口の設置や相談体制を周知する。
- ④子育ての不安解消、情報交換のため、サロン活動の充実を図る。

(2)各種福祉サービスによる支援

- ⑤ファミリーサポートセンター事業の周知と利用促進を図る。
 - ⑥放課後児童クラブ事業補完のため、自助努力とファミリーサポートセンター事業の活用を促す。
 - ⑦関係機関・団体活動の共通認識及び連絡会等にて連携を図る。
-

(3)市民活動による支援

- ⑧子育て中の世代が、講演会等へ積極的に参加できるよう、託児ボランティアを養成する。

